

会 議 要 旨

会議名	令和5年度 館山市立博物館協議会会議
開催日	令和6年2月1日(木) 午前10時00分～午前11時30分
開催場所	館山市立博物館本館 集会室
出席者	<p>館山市立博物館協議会 梶山林繼、清本正人、神作正孝、石井則子、須田啓子</p> <p>館山市教育委員会 教育長 石井浩己 教育部長 今井幹雄 生涯学習課長(博物館長事務取扱) 三浦太郎 博物館学芸係長 宮坂 新 博物館庶務係主事 小林俊彦</p> <p>館山市 観光みなと課副課長 栗原隆太 指定管理者 (株)塚原緑地研究所館山事業所長 中丸 仁</p>
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	なし
会議概要・結果等	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 館山市立博物館協議会会長 梶山林繼 館山市教育委員会教育長 石井 浩己</p> <p>3 議事 (1) 館山市立博物館事業について(説明:博物館 宮坂) ①令和5年度実績報告 ・展示事業, 教育普及事業, 資料収集管理 ・入館者数 ・購入資料の概要 ②令和6年度事業計画 ・主な展示, 教育普及事業</p> <p>(2) 渚の博物館事業について(説明:観光みなと課 栗原) ① “渚の駅” たてやま整備経緯 ② 渚の博物館, 渚の駅入館者数 ③ イベント等実施状況</p> <p>(3) その他 ①令和5年度館山市事業仕分けについて(説明:生涯学習課 三浦)</p> <p>4 報告 館山城指定管理業務について(説明:(株)塚原緑地研究所 中丸)</p> <p>5 その他 連絡事項(博物館:小林)</p> <p>6 閉会</p>

博物館事業について

◎学芸員 1 名減に伴い、企画展の回数が 1 回減って、年 3 回になったとのことだが、学芸員業務は大変だと思う。

●年次的に、適宜、採用していく方針。令和 6 年度は、1 名採用する見込み。

◎現在、学芸員は何名か。

●2 名。

◎関東大震災に関する企画展はとても良かった。地元の様子がリアルに理解できて、参考になった。

◎他県の人が多く来館しているように思う。館山小学校で下校の際、通学路で児童の見送りをしていると、他県ナンバーの人から、博物館の場所を聞かれることがある。

◎本年度資料購入のうち、購入No.1391「岡山藩海防・砲術関係文書」は、自分が市場に出ているのを見つけ、博物館に情報提供したもの。
幕末の房総の海防資料として着目した。

◎令和 6 年度計画にある収蔵資料展「ちょっと昔の暮らしの道具」は、手で触れるものか？壊れる懸念もあるが、手に取って見ることができると良い。

●手で触れることができるようにする。

現在でも、民俗展示室の展示物は、手で触れるようになっている。

渚の博物館事業について

◎渚の博物館は海に隣接していて、塩害は避けられず、難しい問題だ。

◎西岬にある大学施設も、やはり海沿いで塩害は激しい。

塩害仕様の設備は特注品であるため、高額傾向になる。通常仕様で定期的に補修するか、あるいは、高額な塩害対策仕様で長期使用するか、判断しづらい。

当初予算での財政措置は難しい。

●職員が施設を巡回し、早期発見に努めている。

長期的な管理計画も作成しているが、突発的な案件も多く対応に苦慮している。

◎前回会議で、渚の博物館駐車場用地の拡充を尋ねたが、館山造船所向かい側にある三角地は使えないか。

●既に、駐車場として使用されているようだが、市のイベント等の際、臨時駐車場として借用することもある。

◎渚の博物館駐車場を拡張できるか。

●近隣で使用可能な用地があれば、検討していく。

◎渚の博物館では、災害時の避難場所は確保されているか。

●収蔵庫棟屋上部に避難スペースがある。

津波避難場所は城山公園が指定されているが、時間的な余裕の無い場合は、建物内で垂直避難することを想定し、訓練を行っている。

◎館山小学校4年生の環境学習の展示を紹介して頂いたが、地域の人々に広く情報発信できて嬉しく思う。

今後も同様な活動を継続していきたい。

●施設としても協力していきたい。

館山市事業仕分けの結果について

◎事業仕分けされた案件の中で、「現行通り・拡充」の評価は、博物館3施設だけということで良いか。

●その通り。